

研究実施責任者	プロジェクト名	期間	配分額(円)
看護学部・助教 永井 真寿美	高知県における精神障害をもつ女性の妊娠・出産への看護支援モデルの開発	H30-R1	1,407,500
研究概要			
<p>近年、周産期メンタルヘルスの問題は、重要な課題となっている。高知県における周産期医療は県内で分娩を取扱う病院・診療所のほとんど（14/17施設）が中央保健医療圏にあるため、多くの女性が生活圏外の医療提供機関を受診している。</p> <p>限られた医療資源の中で、女性にとって安心して安全な周産期医療を県全体でカバーできる体制を整えることが高知県の周産期医療にとって重要な課題となっている。なかでも、精神疾患を合併する妊産婦に対応できる医療提供施設は非常に限られているため、医療従事者、地域母子保健従事者、思春期保健従事者、医療機関や地域母子保健担当者が有機的な連携と協働体制をつくる必要がある。また、女性は、妊娠や出産といったライフイベントにうまく対処できず、症状が悪化することがある。対人関係に困難さを抱えているため、必要な援助を求められないことも多い。援助者は、精神症状の安定を図りながら母親としての役割を獲得するために、予防的、かつ補完的な援助を行う必要がある。このように、精神障害をもつ女性が妊娠・出産・育児を経験する際には多くの支援が必要となるが、具体的な方略を持たないまま女性や家族と関わっていることも少なくない。精神障害をもつ女性の妊娠・出産に対して現状把握と支援体制、多職種連携体制の構築が求められている。</p> <p>分娩取り扱い施設は中央圏に集中しているが、安芸地区、高幡地区、幡多地区でも1,000人弱の出産数があり、精神障害をもつ妊産婦が含まれている可能性がある。そのため、高知県全域で活用できる「精神障害をもつ女性の妊娠・出産への看護支援モデル」の開発が必要である。この看護支援モデルでは、女性もつ精神障害の特徴に合わせて、妊産婦のセルフケアを適切にアセスメントし、妊娠期、産褥期、その後の育児と、継続した多職種による支援を明らかにする必要がある。助産師、看護師（精神科、小児科、訪問看護師）、保健師などが精神障害をもつ母親、家族を理解するツールとしても活用できる、将来を見通し介入できるような看護支援モデルの開発が必要である。</p> <p>したがって、本プロジェクトの目的は、高知県における①精神障害をもつ女性の妊娠・出産体験の特性とニーズの明確化、②周産期医療に携わる看護職が行った精神障害をもつ女性への看護支援と多職種連携システムの明確化、③「精神障害をもつ女性の妊娠・出産への看護支援モデル」の作成と評価である。</p> <p>精神疾患合併妊娠は、産科・小児科・精神科医師等による専門的な管理が必要となるため、精神疾患合併妊娠に対応可能な周産期医療体制の整備は重要な課題である。第7期高知県保健医療計画においても、高知医療センターにおける精神疾患合併妊産婦への新体制構築が重要課題として提言されており、本プロジェクトにおいてその一端を担うことができる。</p>			

研 究 成 果

文献検討から、精神疾患合併妊婦の約 25%が精神管理されていない状態であり、その間に適切な医療に繋がられない状況が生じている。精神障害をもつ女性が症状を悪化させず、症状をコントロールしながら、必要時に家族や医療者からの支援を得て、子育てを続けるためには、医療者が対象者の病状を含む状況を理解することに加えて、対象者自身でコントロールできるよう、家族と共に子育てができるように支援する必要があることが分かった。

また精神障害をもつ女性を対象に看護支援を行ったことのある看護職者に対し、面接調査を行い、精神障害をもつ女性の妊娠・出産体験の特性やニーズを明らかにした。看護職は対象の精神症状の変化、家族や社会的背景に応じた「個別支援」を行っており、産科・小児科・精神科に関わる「多職種で連携し継続した支援」が提供できる体制づくりを行っていることが分かった。また精神障害をもつ女性の「親になる過程」を支える看護支援について分析を行った。

精神障害をもつ女性は、適切な支援があれば、女性の望む妊娠・出産・育児に取り組むことができる。そのためには適切な医療の介入は不可欠である。

「高知県における精神障害をもつ女性の妊娠・出産・育児への看護支援モデル」を開発することは、精神障害に合わせて妊産褥婦のセルフケアを適切にアセスメントし、精神障害とうまく付き合いながら、乳児の育児に困難感を感じる時期を乗り越え、親として成長し他者とのコミュニケーションを取りながら、社会全体で子どもを育てていくことに役立つ。また多職種で連携し継続した支援を提供することにも役立つ。

成 果 物 等

【論文投稿】

1. 永井真寿美, 佐東美緒, 藤代知美, 長戸和子 : A 県における妊娠・出産・育児期にある精神障害をもつ女性と家族への看護援助, 高知女子大学看護学会誌, 46(2), 37-48, 2021. 6

【モデル案の作成】

1. 高知県における精神障害をもつ女性の妊娠・出産・育児への看護支援モデル案の作成し、フォーカスグループインタビューでモデルの洗練化を行った。完成したガイドラインは高知県下の産科病棟に配布予定である。